

部活動基本方針

静岡県立浜松北高等学校

1 学校教育目標（スクール・ミッション）

「自主独立」の精神のもと、向学心と向上心にあふれる仲間と切磋琢磨する学校として、授業や学校行事、部活動、キャリア教育や異文化理解教育等の全教育活動を通して、広く世界的視野に立って人類の発展に貢献し得る「逞しい人材」の育成を目指す。

2 活動目標

- (1) 生徒による自主的な活動を通して、生徒それぞれが個人と集団の目標達成のために主体的に粘り強く取り組む姿勢と態度を育成するとともに、生涯にわたってスポーツ、自然科学、文化芸術活動に親しむことのできる素地を養う。
- (2) 部活動に意欲的に取り組んでいると答える生徒 加入生徒の90%以上（学校経営計画より）

3 具体的取組

- (1) 基本方針の策定・見直し
本校の部活動基本方針を策定し、学校ホームページに掲載する。見直しは随時行う。
- (2) 目標・活動内容の明確化
 - ア 「部活動シラバス」の作成・提示
各部の目標、年間計画、休養日等を明示した「部活動シラバス」を作成・提示する。
部活動が生徒の主体的活動であることを踏まえ、主体的な選択・加入を促す。
 - イ 活動計画の作成・提示
部活動顧問は生徒の状況を踏まえて練習計画を作成し、生徒（保護者）に提示する。
- (3) 活動上の配慮事項
 - ア 休養日と活動時間（国及び県ガイドラインによる）
 - ・休養日…原則として週2日以上（平日1日、休日1日）
 - ・活動時間…原則として平日は2時間、休日は3時間程度を上限、週当たりの活動時間は11時間程度とし、その中で合理的かつ効果的・効率的に活動する。
※完全下校時刻19時30分を厳守する（校地退出のため部室も含む）。
 - ※活動時間や休養日の設定は、活動環境、大会・コンクール等の日程、定期試験や模擬試験等、生徒の状況を踏まえて各部で調整する。
 - イ 学習指導要領改訂（令和6年12月25日）を踏まえた本校の対応
 - ・部活動は、全ての生徒が一律に加入しなければならないものではなく、生徒の自主的・自発的な参加により行われるものであるため、生徒の部活動への加入は任意とする。併せて、部活動、社会貢献活動、生徒会活動等への参加は引き続き推奨する。
 - ・レクリエーション志向の生徒や運動の苦手な生徒、障害のある生徒など、どの生徒でも参加しやすい活動内容や時間等とするなど工夫が求められるため、顧問は「部活動シラバス」に基づく生徒の納得感のある部活動選択及び活動を支援する。